



埋文さかど年報

平成23年度

1

馬場遺跡2区

調査区

坂戸市大字塚越字馬場

調査期間

平成23年4月5日～4月18日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡-3軒（古墳時代後期）

土坑-4基（時期不明）

溝-2条（時期不明）

馬場遺跡は、坂戸市の北東部に位置し、今回の調査区は台地縁辺にあたり、北側には谷治川が流れています。

狭い面積の発掘調査でしたが、古墳時代後期の住居跡が発見され、周辺にもこの時代の集落が広がっていると考えられます。



1. 馬場遺跡2区



発掘調査の風景

2

坂戸神社遺跡3区-1

調査区

坂戸市中富町

調査期間

平成23年4月11日～5月10日

調査原因

宅地造成工事

確認された遺構と年代

住居跡-1軒（平安時代）

竪穴状遺構-1軒（中世）

井戸-3基（中世以降）

溝-3条（中世以降）

ピット-20基（時期不明）

坂戸神社遺跡は、坂戸駅の北東側の台地上に位置しています。この遺跡は、奈良時代から集落が展開していきます。

住居跡からは、土師器や須恵器のほか、弓矢に使用する鉄鎌も出土しました。



2. 坂戸神社遺跡3区-1



平安時代の住居跡

1

調査区

坂戸市関間

調査期間

平成23年3月1日～4月27日

調査原因

宅地造成工事

確認された遺構と年代

住居跡—2軒（奈良時代）

土 坑—32基（時期不明）

溝 —2条（時期不明）

ヒット—3基（時期不明）



3. 池ノ台遺跡3区

池ノ台遺跡は、若葉駅の西側、平坦な台地上に位置しています。現在は土地区画整理事業が進行し、宅地となっています。

この遺跡は、奈良時代から集落が展開する場所で、今回の調査でも奈良時代の住居跡が2軒発見されました。遺跡の東側には同時期の大集落である、若葉台遺跡が位置していますが、若葉台遺跡に比べ遺構の密

度が低いのが特徴です。

住居跡内からは、土師器や須恵器が出土し、カマドの中から須恵器環が割れた状態で発見されました。出土状況から、カマドの使用を終えた段階で置かれた可能性が考えられます。また、土師器の中には現在の^{みなみむさしがたつき}東京都を中心に分布していた、南武蔵器環が出土したことも特徴です。



調査区遠景



住居跡



カマド内遺物出土状況



カマドから出土した須恵器環

4

蔵ヶ谷戸遺跡5区

調査区

坂戸市大字塚越字蔵ヶ谷戸

調査期間

平成23年5月17日～6月13日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡-1軒(奈良時代)

井戸-2基(時期不明)

土坑-3基(奈良時代)

溝-1条(中世以降)

ピット-4基(時期不明)



4. 蔵ヶ谷戸遺跡5区

蔵ヶ谷戸遺跡は、坂戸市の北東部、台地縁辺に位置します。

今回の調査では、奈良時代の住居跡が1軒発見され、カマドは良好に残っていました。また、土坑内からは湖西産須恵器が出土したことも特徴です。

なお、この遺跡の西側には古代の官道である東山道武蔵路が通っています。



奈良時代のカマド

5

上谷遺跡11区

調査区

坂戸市大字中小坂字金山

調査期間

平成23年6月6日～6月16日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

土坑-6基(縄文時代)

ピット-2基(縄文時代)

遺物包含層 (縄文時代)



5. 上谷遺跡11区

上谷遺跡は、坂戸市南東部、台地縁辺に位置し、北側には大谷川が流れています。

調査区の東側には、縄文時代中期の集落が展開していますが、今回の調査では住居跡は発見されず、縄文時代の土坑などが検出されました。

大型の土坑の中から、深鉢が倒れた状態で出土し、縄文時代後期と考えられます。



土坑の中から出土した深鉢

調査区

坂戸市大字片柳字休台寺

調査期間

平成23年5月9日～7月11日

調査原因

土地区画整理事業

確認された遺構と年代

塚 1基（中・近世）
 火葬遺構 15基（中世）
 土坑 19基（中・近世）
 溝 4条（時期不明）



6. 金内山遺跡2区

金内山遺跡は、飯盛川右岸の台地上に広がり、今回の調査区は休台寺の北側の台地縁辺に位置しています。

調査区内には、高さ約1mの塚状の盛土が残っており、古墳（片柳2号墳）と考えられていました。しかし、今回の調査で塚の直下から中世のカワラケが出土したため、中・近世の塚であることが判明しました。

また、調査区東側には火葬遺構や土坑墓が集中して発見されました。火葬遺構は、平面がT字状を呈するものが主体的で、壁面や底面が被熱していました。

土坑墓は、平面が円形を呈するものが多く、底面からは銭貨が出土しました。

今回の調査区は、中・近世の墓域と考えられ、板碑も多く発見されました。



調査区遠景



火葬遺構群



火葬遺構



土坑墓から出土した銭貨

7

新田前遺跡9区

しんでんまえいせき

調査区

坂戸市大字塚越字新田前

調査期間

平成23年7月25日～8月17日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡-1軒（平安時代）
土坑-33基（古墳時代・時期不明）
溝-1条（時期不明）
ピット-23基（時期不明）



7. 新田前遺跡9区

新田前遺跡は、坂戸市の北東部、台地縁辺に位置し、古墳時代から奈良・平安時代にかけての集落が多く発見されています。

今回の調査では、平安時代の住居跡や性格不明の土坑群が検出されました。また、土坑の中からは出土事例の少ない、須恵器すゑぎの高環形器台が出土したのが特徴です。



性格不明の土坑群

8

坂戸神社遺跡3区

さかどじんじやいせき

調査区

坂戸市中富町

調査期間

平成23年8月1日～8月24日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡-1軒（奈良時代）
土坑-16基（時期不明）
溝-1条（中世以降）
ピット-17基（時期不明）



8. 坂戸神社遺跡3区-2

今回の調査で発見された住居跡は、奈良時代と考えられ、坂戸神社遺跡3区-1から続く集落と考えられます。

柱穴ちゆうけつは、掘立柱建物跡ほったてしら たてものあとの可能性が高いですが、狭い調査区のため明確には分かりませんでした。



調査区全景

調査区

坂戸市関間

調査期間

平成23年7月6日～10月5日

調査原因

土地区画整理事業

確認された遺構と年代

住居跡—3軒（奈良時代）
井戸—1基（奈良時代）
土坑—33基（時期不明）
ピット—19基（時期不明）



9. 池ノ台遺跡4区

今回の調査区は、池ノ台遺跡3区の北側に位置し、奈良時代の住居跡などが発見されました。3区と同様に、遺構の密度は低く、遺物の出土量も少ないのが特徴です。

また、井戸が1基検出され、出土した遺物から住居跡と同様に奈良時代と考えられます。



住居跡内から出土した土師器環

調査区

坂戸市中富町

調査期間

平成23年9月13日～10月13日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡—1軒（奈良時代）
掘立柱建物跡—2棟（時期不明）
道路遺構—1条（中世）
土坑—9基（時期不明）
ピット群（時期不明）



10. 坂戸神社遺跡3区-3

今回の調査区は坂戸神社遺跡3区-2の西側に位置しています。

調査区からは、奈良時代と考えられる住居跡のほか、中世の道路遺構が検出されたのが特徴です。道路遺構は東西方向に延びており、鉄滓やファイゴの羽口が多く出土しました。



道路遺構

調査区

坂戸市大字塚越字馬場

調査期間

平成24年1月30日～平成24年度へ継続

調査原因

宅地造成工事

確認された遺構と年代

道路遺構—1条（古墳時代後期～
平安時代）
土 坑—2基（奈良・平安時代）
溝 —1条（奈良・平安時代か）



11. 馬場遺跡3区

今回の調査では、南北に延びる道路遺構が発見されました。平成22年度に東山道武蔵路が発見された、町東遺跡4区のほぼ延長線上にあたることから、この道路遺構も東山道武蔵路の可能性が高いと考えられます。

道路の側溝は複数回の掘り直しが行われており、道路幅は約11mから約7mへ縮小したと考えられます。

道路の路面部分は、砂利混じりの粘質土を人為的に充填しており、硬化していました。遺物は平安時代の土師器や須恵器が多いですが、7世紀末頃の土師器も出土しています。また、中世のカワラケなども出土していることから、比較的長い間使用されていた可能性もあります。

なお、調査区の西側には、源義家の伝承が残る義家塚があります。



調査区遠景



東山道武蔵路と考えられる道路遺構



路面の硬化層の断面



側溝の土層断面

調査区

坂戸市大字中小坂字金山

調査期間

平成24年1月30日～3月28日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居跡-9軒（古墳時代前期～後期）
土 坑-2基（時期不明）

12. 上谷遺跡12区

上谷遺跡は、縄文時代中期、古墳時代前期から後期にかけての住居跡が多く発見されており、中核的な集落と考えられます。今回の調査区は、狭い範囲ですが古墳時代の住居跡が密集して発見されました。

住居跡の平面は、いずれも方形を呈し、柱をすえた柱穴や煮炊きに使用した炉やカマドが見つかりました。

古墳時代後期の住居跡内からは、多数の土師器に加え、須恵器や紡錘車も出土しました。特に、カマドの脇からは坏や甕などが集中し、坏は重なった状態で出土しています。土師器は、表面を赤く塗るのが特徴で、1400年経った現在でも鮮やかな赤色をしています。



調査区全景



住居跡



カマド周辺遺物出土状況



住居跡内から出土した土師器